

選 考 結 果 総 括 表

府省庁名 内閣府

役職		現任者				任命予定者			選考経過
		氏名	年齢	当初就任 年月日	前職	氏名	年齢	現(前)職	
(独) 北方領土 問題対策協会	理事長	荒川 研	68	H22.2.1	北対協専務理事 三菱商事(株)業務部 顧問	諸星 衛	71	元(財)NHK インター ナショナル理事長	応募総数 9 名 ↓ 書類選考 ↓(3 名) 面接 ↓(3 名) 面接した他の候補者の 情報と併せ、検討の上、 任命権者が選任

独立行政法人北方領土問題対策協会役員名簿新旧対照表

公募

現 任 者							就任(予定)者			任命権者	発令(予定)日
役 職	氏 名	年齢	当初就任 年月日	任期	任期満了 年月日	前 歴	氏 名	年齢	前 歴		
理事長	荒川 研	68	H22.2.1	※1	H30.3.31	三菱商事(株)業務部顧問 (独)北方領土問題対策協会理事 【公募】	諸星 衛	71	元(財)NHKインター ナショナル理事長	内閣総理大臣	H30.4.1
理 事	古矢 一郎	51	H29.10.1	2	H31.9.30	福岡大学法学部教授 内閣府大臣官房参事官事務代理 (総務課、会計課及び政策評価 広報課担当) 【役員出向】				理事長	
理 事 (非常勤)	池田 祥護	39	H30.1.1	2	H31.12.31	(公社)日本青年会議所会頭(現 職)				理事長	
理 事 (非常勤)	赤坂 寅夫	68	H25.10.1	2	H31.9.30	東京都教職員研修センター教授 (非常勤) 東京学芸大学非常勤講師(現職)				理事長	
理 事 (非常勤)	渡邊 修介	67	H26.1.1	2	H31.12.31	在ユジノサハリンスク総領事 在アゼルバイジャン特命全権大 使				理事長	
理 事 (非常勤)	辻 泰弘	62	H29.4.18	2	H31.9.30	北海道経済部長 北海道副知事(現職)				理事長	
監 事 (非常勤)	井上 亜弓 (通称: 鳥山 亜弓)	47	H27.10.1	※2	H30.8.31 (見込み)	公認会計士・弁護士(現職) 千代田国際法律会計事務所				内閣総理大臣	
監 事 (非常勤)	越前 雅裕	62	H27.10.1	※2	H30.8.31 (見込み)	北海道総合政策部交通企画監 (公社)北海道国際交流・協力総 合センター副会長兼専務理事				内閣総理大臣	

※1 理事長の任期は、中期目標の期間の末日まで。

※2 監事の任期は、中期目標期間最終年度(平成30年度)の財務諸表の承認日(8月末)まで。

(独) 北方領土問題対策協会理事長選任理由

本法人の使命は、北方領土問題に関する国民世論の啓発、北方四島交流事業及び元島民等に対する援護事業等を通じ、北方領土問題その他北方地域に関する諸問題の解決を図ることにある。

こうした組織にあって、本ポストには、そのミッションとして、同協会を代表して、内閣府を始めとする国の行政機関、北海道及び北方領土隣接地域を始めとする地方公共団体、民間団体等と連携しながら、同協会の業務を総理し、中期目標に基づき業務を的確に遂行することが求められる。

本件公募に対しては、9人の応募があり、選考委員会による書類選考で3人に絞られた候補者について、選考委員会が面接を行った上で、各候補者に対する評価を任命権者に提示し、これに基づき、任命権者が諸星衛氏を選任することとしたものである。

選考委員会による書類選考及び面接を通じて、同人には、報道機関において全国の報道担当者を率いた経験等を有するとともに、経営陣の1人として経営方針の策定にも携わった実績などがあること、また、報道現場に携わった経験から、北方四島交流事業の活性化に重点を置くことが四島住民の世論を変えるという問題意識もあり、啓発活動に関して特に高い見識が認められ、業務についての知識・識見に秀でていることなどから、職務内容書で必要とされる能力、経験が十分にあると評価された。

特に同人は、北方領土問題に対する国民の関心の低下に歯止めをかけることが重要との観点から、若い層への働きかけやSNS活用の具体的なアイデアを有しており、こうした啓発活動を通じて、北方領土問題解決に貢献したいとの強い熱意を示しており、所管大臣も、同協会の発展に貢献することができるものと大いに期待しているところである。

選考委員会の属性について

【内閣府】

- ・ 独立行政法人北方領土問題対策協会

選考委員会のメンバーの属性は以下のとおり

・ 大学教授	2 名
・ 会社役員	2 名
・ 公認会計士	1 名
<hr/>	
計	5 名